

# IP Phoneを正しくクリーニングする

## 内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[一般情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco IP Phoneを適切にクリーニングする方法について説明し、デバイスをクリーンな状態に保つ最も安全な方法について説明します。

## 背景説明

安全性が最も大きな懸念事項であり、COVID-19のパンデミックが医療などの特定の業界に大きな影響を及ぼしたことをシスコは理解しています。これらの市場のニーズに対応し、貴社と同僚の安全を確保するには、このドキュメントのガイドラインを検討して、デスクの電話機をクリーニングおよび消毒する必要があります。

## 一般情報

IP電話の内部電子機器は、水、液体、または粉末にさらされると損傷を受ける可能性があります。シスコの電話機をクリーニングする場合は、デバイスに直接液体物質をスプレーしないでください。代わりに、湿った布または布を使用して、電話機のタッチポイントを軽くスクラブします。布が濡れている場合、デバイス上のプラスチックの隙間が液体を電話機のセンシティブエレクトロニクスに到達させることができます。すべての耐候性電子機器と同様に、液体と粉末はコンポーネントを損傷し、ハードウェア障害を引き起こす可能性があります。

医療環境では、CaviwipeやSaniwipeを使用して電話機を完全にクリーニングすることを強くお勧めします。カビワイプおよびサニワイプは、最大17%のイソプロパノールを含む。IP電話のクリーニングに関しては、いくつかの重要な点を覚えておいてください。

- 純粋なイソプロパノールや代替アルコール系液体など、より多くのイソプロパノールを含む化学溶液は、電話を損傷する可能性があります。
- 漂白剤などの過酷な化学薬品を使用して、電話機の外装ケースをクリーニングしないでください。
- 汚れや他の損傷を引き起こす可能性のある何かに接触した場合は、すぐに電話機をクリーニングします。例えば、汚れや砂、インク、メイク、石鹼、洗剤、酸、酸性食品、ローション。

注：CaviwipeまたはSaniwipeを1日に3回以上使用すると、電話機の外面が損傷し、電話機の外観に悪影響が及ぶ可能性があります。

電話機を通常よりもクリーニングまたは消毒する必要がある場合は、シスコが承認したシリコンカバーをデスクトップ電話やハンドセットに使用することを検討してください。このカバーは医療用のシリコンでできています。これらのカバーは、電話機から取り外したときに化学溶液で1日

に何度もクリーニングできるように設計されています。シリコンカバーは、電話機の液体の導入によるフックスイッチやキーパッドの障害などの問題を防止するのに役立ちます。電話機のカバーは複数の電話機モデルで使用できるようになりました。詳細については、『[Cisco IP Phone 7800および8800シリーズアクセサリガイド：Cisco Unified Communications Managerシリコンカバー](#)』を参照してください。

注：デバイスに取り付けられている間、カバーをクリーニングしないでください。